

神戸-アジア コンテンポラリーダンス・フェスティバル #03

プレスリリース資料
公演プログラム・クリエーションレポート
(2014年2月1日 現在)



主催：NPO法人 DANCE BOX

開催期間 2014年2月1日(土) - 3月2日(日)

会場：ArtTheater dB神戸 / 京阪電車なにわ橋駅 アートエリアB1

【開催にあたって】

この度、Dance Boxでは、2014年2月1日(土)～3月2日(日)の期間、神戸-アジア コンテンポラリーダンス・フェスティバル#03「私たちの住処はうごめき、また日々生成される。(それとも私の体がグログロするからそう見える?)」を開催する運びとなりました。

当フェスティバルでは、プログラム・ディレクター塚原悠也(contact Gonzo)のキュレーションで、日本・アジアを拠点に世界各国において、身体表現、演劇、美術、音楽といった多様な芸術分野で活躍するアーティスト15組を招聘します。舞台公演プログラムでは、異なる分野から3組ずつのアーティストが、4つのグループを編成し新作を上演します。互いに対話・交流を重ねながら共同作業で創作を行い、いずれも新作・世界初演となる4つの作品をArtTheater dB神戸にて上演いたします。加えて、京阪電車なにわ橋駅 アートエリアB1では、展覧会を開催し、個々のアーティストの表現をご覧いただきます。

アーティストが国境を自由に行き来し、ジャンルを越えて創作を行う時代、ダイナミックに流動するアジアの表現とはどのようなものでしょうか。ぜひ、多くの方々に、当フェスティバルをご覧いただきたく、広報方、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

KOBE-ASIA Contemporary Dance Festival #03

主催：NPO法人 DANCE BOX

【広報に関するお問合せ】 広報担当：大泉愛子・青嶋絢

メール：pr_mail@db-dancebox.org

※記事掲載・広報等のお問い合わせは上記担当者までお願いいたします。

【フェスティバルに関するお問合せ】 NPO DANCE BOX 制作担当：横堀ふみ

〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番 アスタくにづか4番館4階

TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 / メール: mail@db-dancebox.org

神戸-アジア コンテンポラリーダンス・フェスティバル #03

プレスリリース資料
公演プログラム・クリエーションレポート
(2014年2月1日 現在)



主催：NPO法人 DANCE BOX

開催期間 2014年2月1日(土) - 3月2日(日)

会場：ArtTheater dB神戸 / 京阪電車なにわ橋駅 アートエリアB1

【開催にあたって】

この度、Dance Boxでは、2014年2月1日(土)～3月2日(日)の期間、神戸-アジア コンテンポラリーダンス・フェスティバル#03「私たちの住処はうごめき、また日々生成される。(それとも私の体がグログロするからそう見える?)」を開催する運びとなりました。

当フェスティバルでは、プログラム・ディレクター塚原悠也(contact Gonzo)のキュレーションで、日本・アジアを拠点に世界各国において、身体表現、演劇、美術、音楽といった多様な芸術分野で活躍するアーティスト15組を招聘します。舞台公演プログラムでは、異なる分野から3組ずつのアーティストが、4つのグループを編成し新作を上演します。互いに対話・交流を重ねながら共同作業で創作を行い、いずれも新作・世界初演となる4つの作品をArtTheater dB神戸にて上演いたします。加えて、京阪電車なにわ橋駅 アートエリアB1では、展覧会を開催し、個々のアーティストの表現をご覧いただきます。

アーティストが国境を自由に行き来し、ジャンルを越えて創作を行う時代、ダイナミックに流動するアジアの表現とはどのようなものでしょうか。ぜひ、多くの方々に、当フェスティバルをご覧いただきたく、広報方、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

KOBE-ASIA Contemporary Dance Festival #03

主催：NPO法人 DANCE BOX

【広報に関するお問合せ】 広報担当：大泉愛子・青嶋絢

メール：pr_mail@db-dancebox.org

※記事掲載・広報等のお問い合わせは上記担当者までお願いいたします。

【フェスティバルに関するお問合せ】 NPO DANCE BOX 制作担当：横堀ふみ

〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番 アスタくにづか4番館4階

TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 / メール: mail@db-dancebox.org

【公演プログラム・クリエイションレポート】

2月1日より、展覧会のオープンをもってフェスティバルが開幕しました。2月15日からの公演プログラムへ向けて、それぞれのクリエイションが進んでいます。参加アーティスト達が対話と作業を重ねながら、作品創作を行う様子をご紹介します。

Aプログラム

公演日時：2014年2月15日(土) 19:00, 16日(日) 17:00, 17日(月) 20:00

「岡田利規×曾田朋子×Pichet Klunchun」

岡田 利規/Toshiki Okada (劇作家・演出家・小説家・チェルフィッチュ主宰/熊本在住)

曾田 朋子/Tomoko Soda (造形作家/大阪在住)

ピチェ・クランチェン/Pichet Klunchun (古典仮面舞踊家・ダンサー・振付家/タイ・バンコク在住)

出演：コーンカーン・ルーンサワーン (ダンサー/タイ・バンコク在住)、
増田美佳(ダンサー/京都在住)

「住まうこと、暮らすこと、繕うこと、家、服、身体」を最初の手がかりに、3人のアーティストは、バンコク(タイ)、熊本、そして神戸の3カ所に滞在し作品創作を行います。

タイではピチェ・クランチェンのスタジオに滞在し、岡田利規がダンサーに向けてチェルフィッチュの方法論を試行するワークショップを行い、曾田朋子の作品を使って身体の動きを試行錯誤するなど、互いの表現を持ち寄った作業を行いました。また、ピチェ・クランチェン・カンパニーメンバーのコーンカーン、そして京都から増田美佳がダンサーとして作品に参加することが決まりました。

続いて、岡田の生活拠点である熊本へと移動し、古い街並が残る河原町にあるカフェ&ギャラリー・スペース「ギャラリーADO」を間借りして滞在制作を行っています。「曾田がつくる家と衣服のあいだのような作品を使ってダンサーが体を動かし、クランチェンが熊本で滞在中に見た夢の話をも岡田が作品テキストへとおこしてゆく。」というプロセスで舞台作品へと創りあげる作業を行っています。熊本でのクリエイションも終盤です。最終日2月2日には、滞在先のギャラリーADOにて、参加アーティストによるダンス・ワークショップおよびオープンスタジオを開催します。2月5日からは神戸へ移動し、作品の仕上げ段階へと入ります。



ピチェ・クランチェンのスタジオでの稽古(バンコク)



タイで訪れたマーケット(バンコク)



熊本・河原町の風景



カフェ&ギャラリーADOでのミーティング(熊本)

【リハーサル取材について】

神戸でのリハーサルは5日以降ほぼ毎日実施の予定です。取材をご希望される方はリハーサルの模様をご覧頂けるようアレンジ致しますので下記までご連絡ください。

NPO DANCE BOX 制作担当：横堀ふみ

〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番 アスタくにつか4番館4階

TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 / メール: mail@db-dancebox.org

Aプログラム

「contact Gonzo×Skychurch×西光祐輔」

contact Gonzo/コンタクト・ゴンゾ (パフォーマンス・グループ/大阪在住)
Skychurch/スカイチャーチ (ハードコアバンド/フィリピン・マニラ在住)
西光 祐輔/Yusuke Nishimitsu (写真家・アーティスト/東京在住)

激しい肉体のぶつかり合いや殴る、乗るなどの接触行為をパフォーマンスへと昇華するcontact Gonzo、フィリピンのハード・コア界パイオニアとして活躍する3ピースバンドSkychurch、エモーショナルなざらつきとスピード感のある写真作品を生み出す西光祐輔。身体・音楽・写真、3つのメディアのコラボレーションによる次世代の表現を探ります。



performance photo Museum of Modern Art / NY
photo by Choi Kafai
Performing Histories: Live Artwork Examining the Past at The Museum of Modern Art, New York



©Yusuke Nishimitsu

インターネットが高速化するのと比例して、かつて無い速さで音楽がやり取りされる時代に、ヒップホップやハード・コアなど様々な音楽の西と東の差がどんどん無くなっている状況がある。一方で、注意深く聞くと音の湿度が違うようにも思える。物質としての写真にも同じことが言えるのではないだろうか。敢えてオールドスクールに立ち戻らなければという意識と、違いを感じ取る嗅覚。情報と身体がクロスする現場で、汗と血(?)が流れる即興セッションを試行する。

Bプログラム

公演日時：2014年2月21日(金) 20:00, 22日(土) 17:00, 23日(日)17:00

「垣尾優×ジュン・グエン＝ハツシバ×松本雄吉」

垣尾 優/Masaru Kakio (ダンサー・振付家/大阪在住)
ジュン・グエン＝ハツシバ/Jun Nguyen Hatsushiba (現代美術家/ベトナム・ホーチミン在住)
松本 雄吉/Yukichi Matsumoto (演出家・維新派代表/大阪在住)

島と海、またその歴史や航路の在り方への多大な興味を作品化する松本雄吉、ベトナム人の父と日本人の母を持ち、船や走ることによって移動する事を扱うプロジェクトに数多く関わるジュン・グエン＝ハツシバ、根拠を悟らせない即興的判断を重ねて行く事によって時間をつなぐダンサーの垣尾優らによるコラボレーション企画。今福龍太の著作をヒントに「海、移動、人」をキーワードとした作品を創作します。

これまでのミーティングから「水」を中心に据え、浄化、輪廻転生、時間の流れなどのイメージを重ねあわせたパフォーマンスを構想しています。「水が旅をすること、水の流れが時間の経過でもあること、そして身体の6割は水で構成されているということ」を可視化できるような舞台作品となります。松本とハツシバが構想した「水路」の舞台に、垣尾の身体、そしてハツシバがパフォーマンスのライブ映像を撮影し、彼の過去作品とミックスさせ上映します。水は海から劇場の「水路」へと旅をし、観客はその空間に参加することでパフォーマンスの一部となります。



Memorial Project Nha Trang, Vietnam : Towards the Complex-
For the Courageous, the Curious, and the Cowards 2001, single
channel digital video 13 min.
Courtesy: the artist / Mizuma Art Gallery, Tokyo
Commissioned by Yokohama Triennale 2001



Yukichi Matsumoto

B プログラム

「アニマルポップ・ファミリー×QUICK×DJ \$hin」

アニマルポップ・ファミリー/Animal Pop Family (ダンサー/インドネシア・ジャカルタ在住)
クイック/QUICK (ダンサー・演出家・振付家・MuDA代表/京都在住)
DJ \$hin (DJ/大阪在住)

インドネシアのパプア地方の民俗舞踊とヒップホップを振付家ジェコ・シオンポが融合し編み出したダンス・スタイル「アニマル・ポップ」。そのファミリーからフェスティバルへ送り込まれるのは、カンパニー随一の身体能力を誇るダンサー ピアン。ジェコ・シオンポのつくる複雑な振付をダイナミックに踊りこなすピアンを迎え撃つのは、ダンス・カンパニーMuDA代表のQuick (元・一撃)。彼の身体や感覚を極限にまで突き詰めた行為の連鎖はヒップホップから独自の変容を遂げ、圧倒的なオリジナリティを放ちます。本公演は、ピアン v.s. Quickのダンス・バトル一本勝負、音楽を仕切るのは現代の楽器・ターンテーブルを縦横無尽に操る関西DJ界のパイオニアDJ \$hin。各々が持つ最高のパフォーマンスで勝負する、一度限りのエキサイティングな即興ステージをご期待ください。



DJ\$HIN



QUICK



Animal Pop Family

展覧会

パフォーマンス参加アーティストに加え、前回のフェスティバルに参加したチョイ・カファイ、新たにドットアーキテクトズを迎えて、展覧会を開催し、パフォーマンスと個々のアーティストの表現を繋ぐ回路として、フェスティバルをお楽しみいただけます。

※展覧会取材を随時受付けております。取材ご希望の場合は、広報担当(pr_mail@db-dancebox.org)までご連絡ください。

展覧会

会 期：2014年2月1日(日)―3月2日(日) 12:00-19:00 ※月曜休館

会 場：アートエリアB1/入場無料



Choy Ka Fai/Tomoko Soda

展覧会参加アーティスト：

垣尾優/Masaru Kakio
コンタクト・ゴンゾ/contact Gonzo
ジュン・グエン=ハツシバ/Jun Nguyen-Hatsushiba
曾田 朋子/Tomoko Soda
ドットアーキテクトズ/dot architects (建築/大阪在住)
チョイ・カファイ/Choy Ka Fai (アーティスト/シンガポール在住)
西光 祐輔/Yusuke Nishimitsu
犯罪ポーズ

【開催概要】

- 名称：神戸-アジア コンテンポラリーダンス・フェスティバル #03
(英語表記：KOBÉ-Asia Contemporary Dance Festival #03)
- 開催期間：2014年2月1日(土)～3月2日(日)
公演日時：
A プログラム：2014年2月15日(土) 19:00, 16日(日) 17:00, 17日(月) 20:00
B プログラム：2014年2月21日(金) 20:00, 22日(土) 17:00, 23日(日) 17:00
展示会期：2014年2月1日(土)～3月2日(日) 12:00-19:00 ※月曜休館
- チケット情報：
一般：前売3,000円/当日3,300円
25歳以下・障がい者・介助者：前売2,500円/当日2,800円
長田区民：2,000円(前売のみ)
A+Bプログラム通しチケット(前売のみ)：5,000円
※受付開始は開演の45分前、入場整理券をお渡します。開場は開演の20分前、入場整理券の番号順にご入場いただけます。※展示会は入場無料です。
- チケット取扱い：NPO法人 DANCE BOX 事務局 (電話・WEB予約)
住所：〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにつか4番館4階
TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 HP: <http://www.db-dancebox.org>
JCDNダンスリザーブ(オンラインチケット予約) <http://dance.jcdn.org/>
- 開催クレジット：
主催：NPO法人 DANCE BOX
助成：文化庁 平成25年度劇場音楽堂活性化事業/神戸市 平成25年度まちの再生・活性化に寄与する文化芸術創造・創作支援助成/平成25年度一般社団法人 私的録音補償金管理協会 sarah/公益財団法人 福武財団
後援：長田区/神戸市/神戸新聞社/ラジオ関西/サンテレビジョン/NHK神戸放送局/在大阪タイ王国総領事館
協力：維新派/precog/ミヅマアートギャラリー/PANTALOOON/ミヤママシン
展示共催：アートエリアB1 大阪大学+NPO法人ダンスボックス+京阪電気鉄道(株)
- スタッフ・クレジット：
プログラム・ディレクター：塚原悠也
NPO法人DANCE BOXスタッフ:大谷燮、文、横堀ふみ、田中幸恵、西岡樹里、下村唯
広報:青嶋絢、大泉愛子/宣伝美術:松見拓也/イラスト:みかじり/WEB制作:内山大
翻訳:青嶋絢、勝治真美/舞台監督:大田和司/照明：三浦あさ子/音響：西川文章

○ 会場：

■ 公演会場：ArtTheater dB神戸

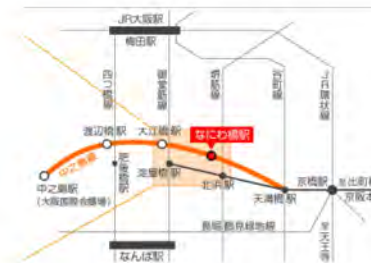
〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにつか4番館4階

TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 HP: <http://www.db-dancebox.org>

■ 展示会場：アートエリアB1

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階

TEL: 06-6226-4006 / HP: <http://artarea-b1.jp>



【公演プログラム・クリエイションレポート】

2月1日より、展覧会のオープンをもってフェスティバルが開幕しました。2月15日からの公演プログラムへ向けて、それぞれのクリエイションが進んでいます。参加アーティスト達が対話と作業を重ねながら、作品創作を行う様子をご紹介します。

Aプログラム

公演日時：2014年2月15日(土) 19:00, 16日(日) 17:00, 17日(月) 20:00

「岡田利規×曾田朋子×Pichet Klunchun」

岡田 利規/Toshiki Okada (劇作家・演出家・小説家・チェルフィッチュ主宰/熊本在住)

曾田 朋子/Tomoko Soda (造形作家/大阪在住)

ピチェ・クランチェン/Pichet Klunchun (古典仮面舞踊家・ダンサー・振付家/タイ・バンコク在住)

出演：コーンカーン・ルーンサワーン (ダンサー/タイ・バンコク在住)、
増田美佳(ダンサー/京都在住)

「住まうこと、暮らすこと、繕うこと、家、服、身体」を最初の手がかりに、3人のアーティストは、バンコク(タイ)、熊本、そして神戸の3カ所に滞在し作品創作を行います。

タイではピチェ・クランチェンのスタジオに滞在し、岡田利規がダンサーに向けてチェルフィッチュの方法論を試行するワークショップを行い、曾田朋子の作品を使って身体の動きを試行錯誤するなど、互いの表現を持ち寄った作業を行いました。また、ピチェ・クランチェン・カンパニーメンバーのコーンカーン、そして京都から増田美佳がダンサーとして作品に参加することが決まりました。

続いて、岡田の生活拠点である熊本へと移動し、古い街並が残る河原町にあるカフェ&ギャラリー・スペース「ギャラリーADO」を間借りして滞在制作を行っています。「曾田がつくる家と衣服のあいだのような作品を使ってダンサーが体を動かし、クランチェンが熊本で滞在中に見た夢の話をも岡田が作品テキストへとおこしてゆく。」というプロセスで舞台作品へと創りあげる作業を行っています。熊本でのクリエイションも終盤です。最終日2月2日には、滞在先のギャラリーADOにて、参加アーティストによるダンス・ワークショップおよびオープンスタジオを開催します。2月5日からは神戸へ移動し、作品の仕上げ段階へと入ります。



ピチェ・クランチェンのスタジオでの稽古(バンコク)



タイで訪れたマーケット(バンコク)



熊本・河原町の風景



カフェ&ギャラリーADOでのミーティング(熊本)

【リハーサル取材について】

神戸でのリハーサルは5日以降ほぼ毎日実施の予定です。取材をご希望される方はリハーサルの模様をご覧頂けるようアレンジ致しますので下記までご連絡ください。

NPO DANCE BOX 制作担当：横堀ふみ

〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番 アスタくにつか4番館4階

TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 / メール: mail@db-dancebox.org

Aプログラム

「contact Gonzo×Skychurch×西光祐輔」

contact Gonzo/コンタクト・ゴンゾ (パフォーマンス・グループ/大阪在住)
Skychurch/スカイチャーチ (ハードコアバンド/フィリピン・マニラ在住)
西光 祐輔/Yusuke Nishimitsu (写真家・アーティスト/東京在住)

激しい肉体のぶつかり合いや殴る、乗るなどの接触行為をパフォーマンスへと昇華する contact Gonzo、フィリピンのハード・コア界パイオニアとして活躍する3ピースバンド Skychurch、エモーショナルなざらつきとスピード感のある写真作品を生み出す西光祐輔。身体・音楽・写真、3つのメディアのコラボレーションによる次世代の表現を探ります。



performance photo Museum of Modern Art / NY
photo by Choi Kafai
Performing Histories: Live Artwork Examining the Past at The Museum of Modern Art, New York



©Yusuke Nishimitsu

インターネットが高速化するのと比例して、かつて無い速さで音楽がやり取りされる時代に、ヒップホップやハード・コアなど様々な音楽の西と東の差がどんどん無くなっている状況がある。一方で、注意深く聞くと音の湿度が違うようにも思える。物質としての写真にも同じことが言えるのではないだろうか。敢えてオールドスクールに立ち戻らなければという意識と、違いを感じ取る嗅覚。情報と身体がクロスする現場で、汗と血(?)が流れる即興セッションを試行する。

Bプログラム

公演日時：2014年2月21日(金) 20:00, 22日(土) 17:00, 23日(日)17:00

「垣尾優×ジュン・グエン＝ハツシバ×松本雄吉」

垣尾 優/Masaru Kakio (ダンサー・振付家/大阪在住)
ジュン・グエン＝ハツシバ/Jun Nguyen Hatsushiba (現代美術家/ベトナム・ホーチミン在住)
松本 雄吉/Yukichi Matsumoto (演出家・維新派代表/大阪在住)

島と海、またその歴史や航路の在り方への多大な興味を作品化する松本雄吉、ベトナム人の父と日本人の母を持ち、船や走ることによって移動する事を扱うプロジェクトに数多く関わるジュン・グエン＝ハツシバ、根拠を悟らせない即興的判断を重ねて行く事によって時間をつなぐダンサーの垣尾優らによるコラボレーション企画。今福龍太の著作をヒントに「海、移動、人」をキーワードとした作品を創作します。

これまでのミーティングから「水」を中心に据え、浄化、輪廻転生、時間の流れなどのイメージを重ねあわせたパフォーマンスを構想しています。「水が旅をすること、水の流れが時間の経過でもあること、そして身体の6割は水で構成されているということ」を可視化できるような舞台作品となります。松本とハツシバが構想した「水路」の舞台に、垣尾の身体、そしてハツシバがパフォーマンスのライブ映像を撮影し、彼の過去作品とミックスさせ上映します。水は海から劇場の「水路」へと旅をし、観客はその空間に参加することでパフォーマンスの一部となります。



Memorial Project Nha Trang, Vietnam : Towards the Complex-
For the Courageous, the Curious, and the Cowards 2001, single
channel digital video 13 min.
Courtesy: the artist / Mizuma Art Gallery, Tokyo
Commissioned by Yokohama Triennale 2001



Yukichi Matsumoto

Bプログラム

「アニマルポップ・ファミリー×QUICK×DJ \$hin」

アニマルポップ・ファミリー/Animal Pop Family (ダンサー/インドネシア・ジャカルタ在住)
クイック/QUICK (ダンサー・演出家・振付家・MuDA代表/京都在住)
DJ \$hin (DJ/大阪在住)

インドネシアのパプア地方の民俗舞踊とヒップホップを振付家ジェコ・シオンポが融合し編み出したダンス・スタイル「アニマル・ポップ」。そのファミリーからフェスティバルへ送り込まれるのは、カンパニー随一の身体能力を誇るダンサー ピアン。ジェコ・シオンポのつくる複雑な振付をダイナミックに踊りこなすピアンを迎え撃つのは、ダンス・カンパニーMuDA代表のQuick (元・一撃)。彼の身体や感覚を極限にまで突き詰めた行為の連鎖はヒップホップから独自の変容を遂げ、圧倒的なオリジナリティを放ちます。本公演は、ピアン v.s. Quickのダンス・バトル一本勝負、音楽を仕切るのは現代の楽器・ターンテーブルを縦横無尽に操る関西DJ界のパイオニアDJ \$hin。各々が持つ最高のパフォーマンスで勝負する、一度限りのエキサイティングな即興ステージをご期待ください。



DJ\$HIN



QUICK



Animal Pop Family

展覧会

パフォーマンス参加アーティストに加え、前回のフェスティバルに参加したチョイ・カファイ、新たにドットアーキテクトズを迎えて、展覧会を開催し、パフォーマンスと個々のアーティストの表現を繋ぐ回路として、フェスティバルをお楽しみいただけます。

※展覧会取材を随時受付けております。取材ご希望の場合は、広報担当(pr_mail@db-dancebox.org)までご連絡ください。

展覧会

会 期：2014年2月1日(日)ー3月2日(日) 12:00-19:00 ※月曜休館

会 場：アートエリアB1/入場無料



Choy Ka Fai/Tomoko Soda

展覧会参加アーティスト：

垣尾優/Masaru Kakio
コンタクト・ゴンゾ/contact Gonzo
ジュン・グエン=ハツシバ/Jun Nguyen-Hatsushiba
曾田 朋子/Tomoko Soda
ドットアーキテクトズ/dot architects (建築/大阪在住)
チョイ・カファイ/Choy Ka Fai (アーティスト/シンガポール在住)
西光 祐輔/Yusuke Nishimitsu
犯罪ポーズ

【開催概要】

- 名称：神戸-アジア コンテンポラリーダンス・フェスティバル #03
(英語表記：KOBÉ-Asia Contemporary Dance Festival #03)
- 開催期間：2014年2月1日(土)～3月2日(日)
公演日時：
A プログラム：2014年2月15日(土) 19:00, 16日(日) 17:00, 17日(月) 20:00
B プログラム：2014年2月21日(金) 20:00, 22日(土) 17:00, 23日(日) 17:00
展示会期：2014年2月1日(土)～3月2日(日) 12:00-19:00 ※月曜休館
- チケット情報：
一般：前売3,000円/当日3,300円
25歳以下・障がい者・介助者：前売2,500円/当日2,800円
長田区民：2,000円(前売のみ)
A+Bプログラム通しチケット(前売のみ)：5,000円
※受付開始は開演の45分前、入場整理券をお渡します。開場は開演の20分前、入場整理券の番号順にご入場いただけます。※展示会は入場無料です。
- チケット取扱い：NPO法人 DANCE BOX 事務局 (電話・WEB予約)
住所：〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにつか4番館4階
TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 HP: <http://www.db-dancebox.org>
JCDNダンスリザーブ(オンラインチケット予約) <http://dance.jcdn.org/>
- 開催クレジット：
主催：NPO法人 DANCE BOX
助成：文化庁 平成25年度劇場音楽堂活性化事業/神戸市 平成25年度まちの再生・活性化に寄与する文化芸術創造・創作支援助成/平成25年度一般社団法人 私的録音補償金管理協会 sarah/公益財団法人 福武財団
後援：長田区/神戸市/神戸新聞社/ラジオ関西/サンテレビジョン/NHK神戸放送局/在大阪タイ王国総領事館
協力：維新派/precog/ミヅマアートギャラリー/PANTALOON/ミヤママシン
展示共催：アートエリアB1 大阪大学+NPO法人ダンスボックス+京阪電気鉄道(株)
- スタッフ・クレジット：
プログラム・ディレクター：塚原悠也
NPO法人DANCE BOXスタッフ:大谷燮、文、横堀ふみ、田中幸恵、西岡樹里、下村唯
広報:青嶋絢、大泉愛子/宣伝美術:松見拓也/イラスト:みかじり/WEB制作:内山大
翻訳:青嶋絢、勝治真美/舞台監督:大田和司/照明:三浦あさ子/音響:西川文章

○ 会場：

■ 公演会場：ArtTheater dB神戸

〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにつか4番館4階

TEL:078-646-7044 / FAX:078-646-7045 HP: <http://www.db-dancebox.org>

■ 展示会場：アートエリアB1

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階

TEL: 06-6226-4006 / HP: <http://artarea-b1.jp>

